

佐々木(東邦銀)「結果で恩返し」



世界パラ陸上17日開幕

神戸市で17日に開幕するパラ陸上の世界選手権の前に、女子200㍎と400㍎(視覚障害T13)に出場する東邦銀行陸上競技部の佐々木真菜(26)㍎福島市出身㍎は9日、福島大で練習を公開した。400㍎は今夏のパリ・パラリンピックの出場枠獲得が懸かっており「順位とタイムをしっかり狙っていきたい」と意気込みを語った。【12面に本記】

パリ切符へ闘志

PARIS
2024

佐々木は吉田真希子監督として調整した。現在はスタの指導を受けながら、走りコースからの加速の強化に力のリズムや体勢などを確認を入れており、「スプリン

ト力は良い感じになってきている。持久力も大事になってくる中で強化できている」と手応えを語った。

パラリンピックの出場枠が懸かった昨年7月の世界選手権では、400㍎で58秒02で5位だった。今大会はすでに出場枠を得ている選手を除き上位2人以内に入れば出場枠を獲得できる。

吉田監督は「100%の力を発揮できればメダルに限りなく近いところまで行ける」と期待。佐々木は初めて日本で開かれる世界選手権に向けて「タイムは57秒前半で、決勝ではメダルを目指す。いつも応援してくださる皆さんに結果で恩返しをしたい」と語った。

▲世界パラ陸上に向けて練習を積む佐々木㍎福島大